

科目名	演劇表現演習Ⅱ							年度	2025
英語科目名	Dramatic Expression Practice Ⅱ							学期	後期
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必／選	選	時間数	40	単位数	1	種別※	実習
担当教員	安奈ゆかり		教員の 実務経験			実務経験の 職種		俳優・声優	
【科目の目的】 個人ワークから始まりグループワークへ移行していく。演劇のメソッドとして、インプロビゼーションを取り入れつつ企画・構成を考えながら進める。自己の表現と他者の表現の違いを意識しながらよりよい表現方法を模索し、セルフプロデュース能力を育成。個人での企画制作とグループ単位での企画制作の相違点を理解し、一つのコンテンツを仕上げ、自己表現のあり方を習得することを目指す。									
【科目の概要】 現代演劇やミュージカル、伝統芸能、お笑いなど様々な演劇表現を学びます。									
【到達目標】 役を生き、観客に伝える力を養うこと。今後のオーディションやオンラインオーディションに必要なスキルを身につけることを目標とする。									
【授業の注意点】 コミュニケーションを重視し、役割分担等、得意分野に限らず、主体的意思の元に行動し学ぶ姿勢を持つ学生を高く評価する。自らが考え、答えを導き出すことに重きを置き、積極的に参加することを求める。理由のない欠席は認めない。恒常的に出席することが基本原則である。課題として課する物の提出は必ずすること。授業時数の4分の3以上出席をしない者は定期試験を受験することはできない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1				
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力				
到達目標 A	自分の考えや感情を、言葉、身体、声などを効果的に使い、深く表現できる。	自分の考えや感情を、言葉、身体、声などを使い、表現できる。	自分の考えや感情を、言葉で表現できる。	自分の考えを言葉で表現するのが難しい。	自分の考えを表現するのが困難。				
到達目標 B	グループワークにおいて、積極的に意見交換を行い、リーダーシップを発揮する。	グループワークにおいて、積極的に意見交換を行う。	グループワークに参加し、他のメンバーの意見に耳を傾ける。	グループワークに参加するが、積極的に意見を言わない。	グループワークに消極的で、他のメンバーとのコミュニケーションが不足。				
到達目標 C	与えられたテーマに対して、独創的で斬新なアイデアを出し、表現方法を考案できる。	与えられたテーマに対して、オリジナルティのあるアイデアを出し、表現できる。	与えられたテーマに対して、一般的なアイデアを出し、表現できる。	与えられたテーマに対して、アイデアを出すのに時間がかかる。	与えられたテーマに対して、アイデアを出すことが難しい。				
到達目標 D	自分の表現を客観的に評価し、改善点を見つけ、次の課題に活かせる。	自分の表現を客観的に評価し、改善点を見つけようとする。	自分の表現について、客観的な視点を持つのが難しい。	自分の表現について、評価することができない。	自分の表現について、関心が薄い。				
到達目標 E	遅刻・欠席をしない	遅刻はあるが欠席は少ない	遅刻・欠席が少ない	遅刻・欠席が多い	遅刻・欠席が非常に多い				

【教科書】 レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。							
【参考資料】							
【成績の評価方法・評価基準】 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。							
科目名		演劇表現演習Ⅱ				年度	2025
英語表記		Dramatic Expression Practice Ⅱ				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	アフレコ①	基本マナー、マイクの使用・イヤホン使用について。		アフレコの基礎知識	アフレコの基礎知識を習得		
2	アフレコ②	映像の見方について。					
3	アフレコ③	台本の読み取り方、注意点。					
4	コミュニケーションゲーム①	ここまで学んだ事を生かし、いかにコミュニケーションが取れるか。					
5	コミュニケーションゲーム②	ここまで学んだ事を生かし、いかにコミュニケーションが取れるか。					
6	台詞・短編・エチュード①	自由に表現する。					
7	台詞・短編・エチュード②	自我を捨て役をつかむ。					
8	台詞・短編・エチュード③	更なるイメージ力、行動力を持ち表現力を磨く。					
9	後期まとめ①	様々な課題に対しての自分のアプローチの度合いを知る。					
10	後期まとめ②	改めての自ら足りない部分の強化。					
11	後期まとめ③	改めての自ら良い部分の認識。					

12	1年間まとめ	発表、反省、新たな課題の発見。					
13							
14							
15							
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							